

川合産婦人科



Four seasons news letter

出版元

医療法人川合産婦人科 事務局 愛知県名古屋市西区坂井戸町 191 TEL:052-502-1501

季節のお便り

妊娠第20週目（6ヶ月目） 親になる自覚を感じます。

赤ちゃんは外の世界をしつかりと感じ取れるように脳が成長してきました。

羊水の味や腸がゴロゴロ・ギューギューする音にも反応できるようになってきています。

ママのおなかの中で「ピクンッ！ピクンッ！」と定期的な動きを感じるかもしれません。

これは、横隔膜が未熟な赤ちゃんがシャククリをする事から感じる胎動です。「よしよし、シャククリ出てるね♪」とお腹をさすりながら声をかけて見守ってあげましょう。超音波検査では鼻もすっかりわかるようになっていきます。五感のうち触感は冷たい、温かいを感じられるよう



あっ♪聞こえたよ^^



にもなっています。睡眠パターンはある程度出来上がっているので、寝て起きてを規則的に繰り返しています。

体重300g前後、大きさは21cm（十一2cm）に成長しました。3週間後には30cmに成長するからびっくりですね。

この時期のママは落ち着きを取り戻し、いよいよ親になる自覚を感じ始めていることでしょう。しかし旦那さんは自分のお腹の事ではないので、頭では理解できても、中々実感をもてません。そんな時は、旦那さんの手をお腹にもってきて「ねっっ動いてるでしょ」と体感させてあげてくださいね。

「育児」にもノイローゼがある 更年期や仕事だけではなかった 生後0ヶ月～6ヶ月がピーク

ママは「産まれたよ！」その言葉と共に人生最大の幸せな気持ちでいっぱいになります。

産後の入院期間中は、あれこれと講習を受講したりして大変ですが、基本的には看護師さんや助産婦さんの「プロの手」により、困ったときはいつでも相談できる

ので、気持ちはしつかり前を向いています。しかし、退院すると全て自分と家族の責任で24時間体制のお世話が始まります。

同時期、ママの体調は子宮収縮しはじめており、ホルモンバランスも変化するなど、妊娠期間とは違った形で心身ともに疲労困憊の時期を迎えます。これは赤ちゃんが出来れば誰もが通る道なので乗り越えるしかありませんが、不安でいっぱいの際は、「一人でやる！」と無理にがんばらず、短期間でも里帰りして実母に甘えるなどしなければ心が折れてしまいますので要注意です。

テレビのニュースを見ながら「あっ…こんな（赤ちゃんへの）DV絶対だめだよ！」って言っていた自分が、極度のストレスや苛立

ちから赤ちゃんを「試す」という感情と行為で「放置」してしまうことがあるそうです。これは一歩間違えたら「育児放棄」の種です。で、「ちよっとえらいな」と感じたら、スマホでネットサーフィンするのではなく、周囲に「つらい」とすぐに伝える事を忘れずに。

もっと身近な

川合産婦人科を目指して

当院はこの名古屋市西区で45年間、お母さんの代からお孫さんまでをサポートするために産婦人科として営んでまいりました。時代と共に環境は変わって参りますが、当院は親切・丁寧をモットーにみなさまへ貢献できればと存じております。

当院は本年度よりホームページを活用して、様々なお知らせを発信してまいります。